



新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始致しますのでご案内申し上げます。

謹白



項目名

● ProGRP (ガストリン放出ペプチド前駆体) (血漿) (依頼コードNo. 1317)

受託開始日 2010年10月4日(月) 受付分より

■ 検査の概要 ■

- ProGRP (ガストリン放出ペプチド前駆体) は肺小細胞がんの腫瘍マーカーであり、比較的早期より値の上昇を認め、早期発見、鑑別診断に有用性が示されていますが、血清中では凝固過程で産生されるトロンビンの影響を受け、時間の経過とともに測定値に変動が認められることが知られています。この度、血液凝固系を活性化しにくい血漿を用いた検査の受託を開始致しますので、ご案内申し上げます。

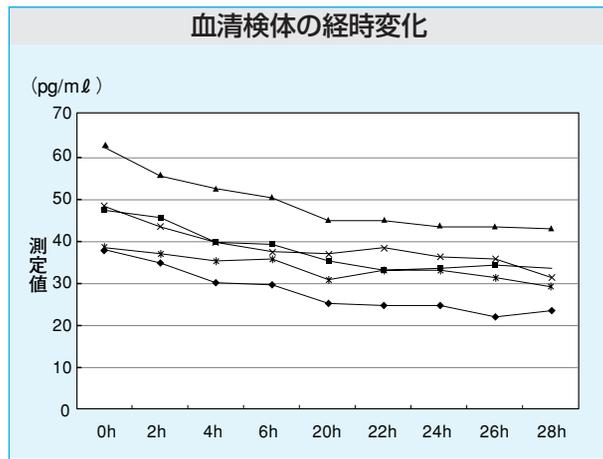
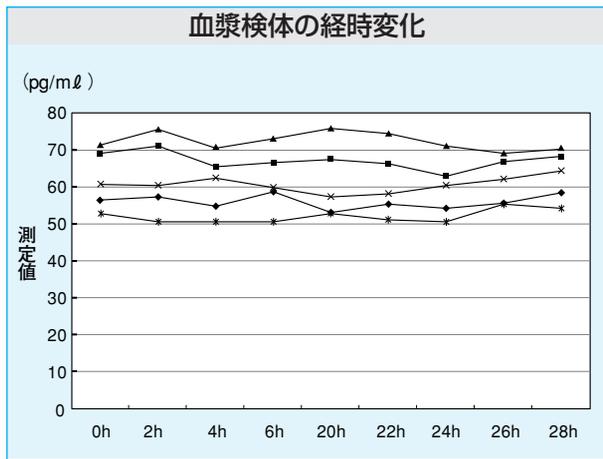
なお、従来の血清を用いた検査法との相関は良好ですが、血漿の測定値は高値を示します。
また、基準値は正常人を対象とした98.5%タイル値(メーカー設定値)です。

受託要領

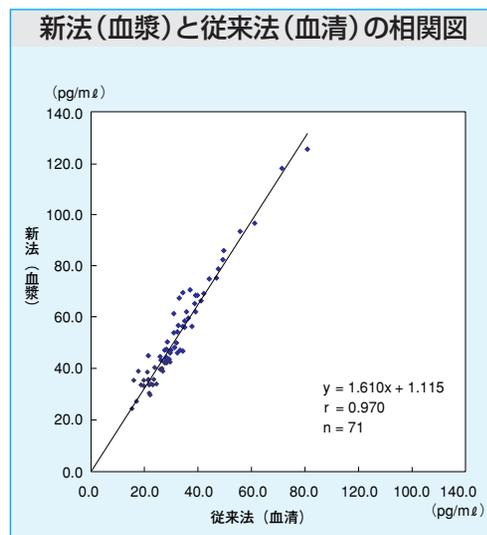
依頼コードNo.	1317
検体必要量	血漿 0.6mℓ
検体の保存方法	冷蔵
採取容器	B-7 → S-1
測定方法	CLIA法
基準値	80.0 以下
単位	pg/mℓ
報告桁	小数第1位
報告日数	2~3日
検査実施料/判断料	180点/144点 (生化学的検査 (Ⅱ))

裏面に続きます

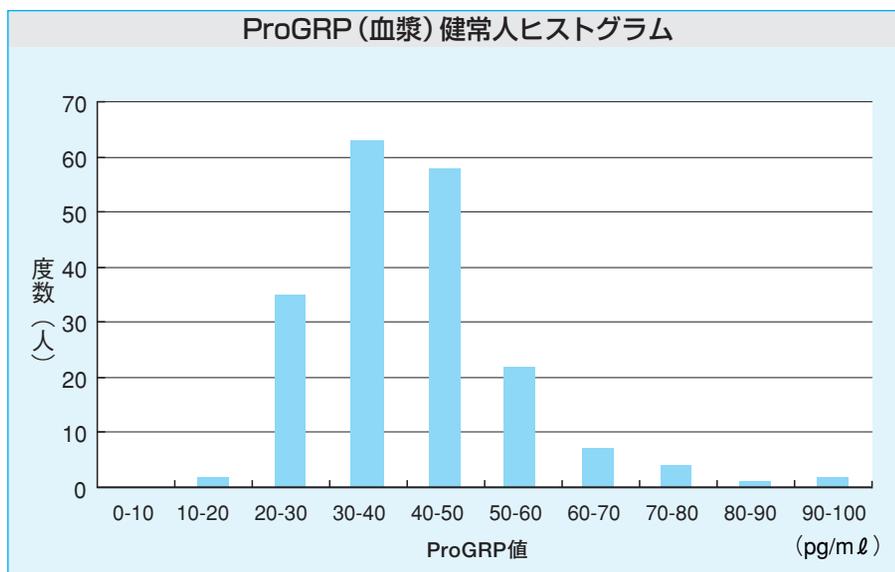
● 冷蔵保存による経時変化



自社検討資料



自社検討資料



メーカー資料

【測定法の参考文献】 吉村 徹, 他: 医学と薬学62(4), 759-766, 2009.